

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年5月9日(2019.5.9)

【公開番号】特開2017-164158(P2017-164158A)

【公開日】平成29年9月21日(2017.9.21)

【年通号数】公開・登録公報2017-036

【出願番号】特願2016-50766(P2016-50766)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月25日(2019.3.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

後方からの光を前方に透過する透過性を有し、画像を表示する画像表示部材と、前記画像表示部材の後方に位置し、光源を点灯して前記画像表示部材を後方から照明する点灯状態と、前記光源を消灯するもしくは点灯状態よりも暗く前記画像表示部材を照明する消灯状態とを、電気的に切り換える照明部材と、

前記画像表示部材の後方に位置し、後方を視認可能にする視認可能状態と、前記視認可能状態よりも後方を視認困難な状態にする視認困難状態とを、電気的に切り換える透過部材と、

前記照明部材および前記透過部材よりも後方に位置する透過表示される対象と、

前記透過部材が視認可能状態の期間に、

前記照明部材を点灯状態とし、前記画像表示部材の画像表示領域に、第1演出画像を表示させる画像表示制御と、

前記照明部材を消灯状態とし、前記画像表示部材の画像表示領域に、前記画像表示部材の後方を視認可能にする透過画像を表示させる透過表示制御と、

一定期間、前記照明部材を点灯状態とし、前記画像表示部材の画像表示領域に、前記第1演出画像あるいは前記第1演出画像と異なる第2演出画像を表示させる照明点灯期間と、

を切り換え可能な制御切換手段と、

を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載する遊技機において、

前記透過表示制御では、前記画像表示部材の画像表示領域のうち少なくとも前記透過表示される対象を見せる領域に、前記透過画像を表示させる、

ことを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載する遊技機において、

前記一定期間は、点滅表示期間での前記画像表示制御と前記透過表示制御とを行う1周期分の時間以上である、

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 4】

請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 つに記載する遊技機において，
前記第 2 演出画像は，前記第 1 演出画像と同じモチーフの画像である，
ことを特徴とする遊技機。

【請求項 5】

請求項 1 から請求項 4 のいずれか 1 つに記載する遊技機において，
前記第 1 演出画像と前記第 2 演出画像との少なくも一方は，前記透過表示される対象を
示唆する画像である，
ことを特徴とする遊技機。

【請求項 6】

請求項 1 から請求項 5 のいずれか 1 つに記載する遊技機において，
前記第 1 演出画像は，前記透過表示される対象を見せる領域に表示される，
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の遊技機は，
後方からの光を前方に透過する透過性を有し，画像を表示する画像表示部材と，
前記画像表示部材の後方に位置し，光源を点灯して前記画像表示部材を後方から照明す
る点灯状態と，前記光源を消灯するもしくは点灯状態よりも暗く前記画像表示部材を照明
する消灯状態とを，電気的に切り換える照明部材と，
前記画像表示部材の後方に位置し，後方を視認可能にする視認可能状態と，前記視認可
能状態よりも後方を視認困難な状態にする視認困難状態とを，電気的に切り換える透過部
材と，

前記照明部材および前記透過部材よりも後方に位置する透過表示される対象と，
前記透過部材が視認可能状態の期間に，

前記照明部材を点灯状態とし，前記画像表示部材の画像表示領域に，第 1 演出画像を
表示させる画像表示制御と，

前記照明部材を消灯状態とし，前記画像表示部材の画像表示領域に，前記画像表示部
材の後方を視認可能にする透過画像を表示させる透過表示制御と，

一定期間，前記照明部材を点灯状態とし，前記画像表示部材の画像表示領域に，前記
第 1 演出画像あるいは前記第 1 演出画像と異なる第 2 演出画像を表示させる照明点灯期間
と，

を切り換え可能な制御切換手段と，
を備えることを特徴とする遊技機である。